

第15回 旭川流域連絡協議会（幹事会）議事録

日時：平成16年10月28日（木）14：00～15：20

場所：落合町 ハイランドおちあい 研修室

参加者：岡山市、瀬戸町、吉井町、吉備中央町、旭町、落合町、北房町、久世町、勝山町、美甘村、岡山県土木部河川課、岡山県土木部河川開発課、建部建設事務所、真庭地方振興局、国土交通省岡山河川事務所

打合せ事項

配付資料の議事次第に基づき、以下の事項について打合せを行った。

- 1) 市町村合併に伴う構成団体名の変更と今後の体制について
 - ・ 今後の旭川流域連絡協議会の構成団体は、合併によって新たにできる市町及び建部町、瀬戸町、新庄村で構成（平成16年10月14日現在）し、団体名称も新市町名とすることについて事務局より説明を行い、了承。
 - ・ 合併後の各自治体の協議会担当者や運営等については、今後、合併完了までに調整を行うことについて、了承。
- 2) 平成16年度中間決算報告及び平成17年度予算案について
 - ・ 平成16年度中間決算報告を事務局より説明を行い、了承。
 - ・ 平成17年度の予算について、支出計画案について説明し、了承。
 - ・ 平成17年度の協議会負担金については、負担金対象額は平成16年度と同様30万円とする。内訳は河川管理者（国10万円、県5万円、計15万円）、流域内市町村（15万円）とし、合併後の市町村については、新市町を構成する市町村の現行負担金をそのまま移行する案を提示し、了承。
- 3) 平成16年度台風被害報告
 - ・ 平成16年度岡山県に大きな被害をもたらした台風16号、18号、21号、23号について、岡山県全体及び吉井川・旭川・高梁川の被害状況及び浸水被害が発生した自治体の要請で国交省が所有する排水ポンプ車等を出動したことについて報告。
- 4) 平成16年度 国土交通省重点施策
 - ・ 平成16年7月に発表された「国土交通省重点施策」について特に大規模災害対策には地域の水防力の強化が加えられ、行政と地域が一体となった防災への取り組みの重要性が強調されたこと、地域再生やまちづくりについて説明を行った。
- 5) 自主防災組織の育成・設置に関する報告書 - 地域防災力の強化に向けて - （抜粋）
 - ・ 県・市町村防災対策協議会（平成15年5月20日発足、会長：岡山大学環境理工学部教授 竹宮 宏和）が平成16年9月に取りまとめた上記報告書について概要を説明。
- 6) 地域コミュニティ防災体制構築に向けての取り組み
 - ・ 流域連絡協議会では、自主防災組織の育成に向けて岡山市操明学区、建部町川口地区、落合町開田地区の3地区を重点モデル地区に選定し、組織の強化育成に向けた取り組みを行うこととした。

- ・ その第1段階として、モデル地区に対し、組織の設立経緯、規約、活動状況、問題点、今後の課題などについて実施したヒヤリング結果について報告した。地区により活動状況に地域性からも差が出ているが、共通している点は一般地域住民の防災意識が希薄化していることが挙げられた。
- ・ 今後の取り組みについては、協議会全体としては、防災意識高揚に向けて主に広報について活動・支援等を行っていくこと。また、モデル地区としては、挙げられた課題の解決を目指していくこと、防災マップづくり等を行っていく。
- ・ また、平行して行っている行政へのアンケート調査への協力依頼を再度行った。

7) その他

- ・ 「三位一体改革」について概要説明。
- ・ 平成16年度の旭川流域交流シンポジウムは、11月20日、21日に勝山町で行われる予定で準備が進められていることを報告。
- ・ 新潟・福島、福井水害、台風による瀬戸内沿岸の高潮災害を受けて、緊急防災フォーラムが9月30日、広島市で開催された。落合町長（辻騏一郎氏）がパネリストとして出席され平成10年10月洪水と防災についての意見を述べた新聞記事の紹介を行った。また今年度の、多くの台風を受けて一般市民への意識啓発のため、防災に関するシリーズ特集の新聞広告の紹介を行った。

以上